



令和元年7月12日

各 位

会 社 名： ユーピーアール株式会社  
代 表 者 名： 代表取締役社長 酒田 義矢  
(コード番号：7065 東証市場第二部)  
問 合 せ 先： 経営企画部長 石村 浩  
TEL：03-3593-1728

## 令和元年8月期の業績予想および配当予想の修正について

当社は本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、令和元年6月12日に公表いたしました令和元年8月期の業績予想および配当予想を、以下のとおり上方修正することといたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 令和元年8月期通期業績予想の修正（平成30年9月1日～令和元年8月31日）

【連結】

(単位：百万円・%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	11,261	520	724	407	329 円 86 銭
今回修正予想(B)	11,587	706	943	505	409 円 35 銭
増減額(B-A)	326	186	219	98	—
増減率(%)	2.9	35.7	30.2	24.0	—
(参考) 前期連結実績 (平成30年8月期)	10,367	636	803	566	493 円 86 銭

(注) 1. 前期連結実績（平成30年8月期）の1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数（自己株式を除く）により算出しております。令和元年8月期（予想）の1株当たり当期純利益は自己株式の処分株式数（384,000株）を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 平成31年2月28日付で、株式1株につき20株の株式分割を行っております。上記では平成30年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

## 修正の理由

物流業界を取り巻く環境は、トラックドライバーの高齢化や人手不足が深刻化し、運送会社がバラ積み敬遠しパレット輸送が急拡大する傾向が継続しています。そのような状況に加え令和元年10月の消費税増税前の駆け込み需要へ対応するため、各社が在庫を積み増す等の動きが出てきたことから、パレットの需要は当初予想よりも増加傾向となっています。

このため当社のコア事業であるレンタルパレットおよびパレット販売の売上が予想よりも上回って推移し、デポへ支払う保管料等の売上原価も減少したことから営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともすべての予想値が前回発表の予想を上回る見込みとなりました。これらを踏まえて令和元年8月期の業績予想を上方修正致します。

## 2. 令和元年8月期配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想		25 円 00 銭	25 円 00 銭
今 回 修 正 予 想		35 円 00 銭	35 円 00 銭
当 期 実 績	0 円		
前 期 実 績 (平成 30 年 8 月期)	0 円	50 円 00 銭 (2 円 50 銭)	50 円 00 銭 (2 円 50 銭)

(注) 平成 31 年 2 月 28 日付で、株式 1 株につき 20 株の株式分割を行っております。前期実績 (平成 30 年 8 月期) の配当金については、平成 30 年 8 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の数値を参考までに ( ) 内に記載しております。

## 修正の理由

当社は当面の配当性向を 10%程度とし、業績に応じた還元を配当の基本方針としております。

今回、通期業績予想を上方修正したことに伴い、1 株当たりの年間配当額についても、修正後の親会社株主に帰属する当期純利益の 10%程度を配当総額として算定した金額に修正いたしました。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合等様々な要因によって異なる場合があります。